

議 事 要 旨

名 称	令和5年度 第2回中小企業振興円卓会議	
開催日時	令和5年12月19日（火）10:00～11:30	
開催場所	KH三番町プレイスビル 3階第1会議室	
委 員	出 席	<p>愛媛大学 法文学部 教授 和田 寿博（座長）</p> <p>松山商工会議所 経営支援部 経営支援課 課長 近藤 綾子</p> <p>愛媛大学 社会連携推進機構 教授 前田 眞</p> <p>松山短期大学 教授 黒田 明良</p> <p>愛媛県中小企業家同友会 松山支部長 桑波田 健</p> <p>公益財団法人えひめ産業振興財団 事務局次長 竹内 耕三</p> <p>株式会社日本政策金融公庫 松山支店 融資第三課 課長 永田 充</p> <p>株式会社愛媛銀行 公務ふるさと振興部 部長 岡田 温仁</p> <p>愛媛信用金庫 地域事業振興部 推進役 唐崎 秀樹</p> <p>愛媛県若年者就職支援センター（ジョブカフェ愛work）リーダー 寺尾 真奈美</p> <p>特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ 代表理事 堀田 真奈</p> <p>愛媛県経済同友会 事務局長 川平 明生</p> <p>（代理出席）</p> <p>愛媛県中小企業団体中央会 振興部 支援課 課長補佐 丹下 隆雄</p> <p>株式会社伊予銀行 地域創生部 吉見 優一</p>
	欠 席	<p>公益社団法人松山法人会 事務局長 洲上 悟（副座長）</p> <p>北条商工会 事務局長 伊藤 伸也</p> <p>中島商工会 事務局長 坂東 健吾</p>
事 務 局	松山市産業経済部 地域経済課 ふるさと納税・企業支援担当課長 中島 敏喜 他	



議事内容

1. 開 会

2. 令和5年度専門部会活動について（中間報告）

- 各専門部会長が今年度の活動について報告を行った。（資料1-1～1-3）
- 委員から、部会事業参加者募集の周知方法について問う質問があり、チラシを作成して会員へ案内したり、意義を理解して参加してもらうため、声掛けして参加を促したことの報告があり、今後は参加者を確保するため、関係機関・市を通じて案内をすることなどを確認した。
- DXの取組が進展した市内事業者等の事例などについて紹介があった。
- 事務局からDX導入を途中で断念したケースの理由などを今後の施策の参考にするため聴取してほしいと依頼した。

3. 令和6年度円卓会議の運営について

- 事務局から、来年度、円卓会議を中心に中小企業振興計画の見直し作業を行いたいと説明した。
- 委員から、計画の進捗管理に関する質問があった。
これに対し、事務局から、今後は円卓会議の場で進捗管理するため実績等を報告し、検証いただきたいと答えた。
- 委員から、計画策定のための調査分析は重要で、働く人の声を集めることが大事だとの意見があった。
- 委員から、人材確保・定着のテーマで調査したり、目標設定することの提案があった。
- 委員から、若者は松山に残りたいが、給与面で他自治体に転職している傾向があるため、所得の改善が必要との意見があった。これに対して、事務局から、事業者では人材不足で収益性を向上させることが難しいが、生産性を向上させて賃上げに繋げ、さらには人材の定着に繋げていけるような施策を考えていく必要があると答えた。
- 委員から、国・県・市それぞれいろいろ支援メニューがある中、松山市の特色のある施策は何かということを出せばよいとの意見があった。
- 委員から、地元企業のことを知らない学生が少なくないため、知ってもらう活動が大切との意見があった。
- 委員から、松山市の強み・弱みを踏まえた実態調査ができればよいとの意見があった。
- 委員から、松山市が勤務地として選ばれる理由のひとつに住みやすさや地域の良さもあるため、そういったことも考えていければよいとの意見があった。
- 委員から、目指すべき将来のビジョンをしっかりと持って、夢を実現するための課題をどう解決していくかの視点を持った調査ができればよいとの意見があった。また、中間支援組織の役割・今後どう連携していくのかを議論していくことが必要との意見があった。

4. その他

- 委員から、事業承継マッチングイベントの紹介があった。

5. 閉 会